

日興・GS 世界ソブリン・ファンド（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第249期（決算日 2024年2月15日）第251期（決算日 2024年4月15日）第253期（決算日 2024年6月17日）
第250期（決算日 2024年3月15日）第252期（決算日 2024年5月15日）第254期（決算日 2024年7月16日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「日興・GS 世界ソブリン・ファンド（毎月分配型）」は、2024年7月16日に第254期の決算を行ないましたので、第249期から第254期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2003年3月28日から原則無期限です。
運用方針	投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託の受益証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託の受益証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への直接投資は行ないません。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<952346>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	み 金 騰 落	中 率	(参考指数)				
	円	円	%		%	%	%	百万円	
225期(2022年2月15日)	4,745	10	△2.4	198.83	△1.6	—	98.3	3,522	
226期(2022年3月15日)	4,769	10	0.7	198.36	△0.2	—	98.3	3,531	
227期(2022年4月15日)	4,895	10	2.9	203.29	2.5	—	98.3	3,616	
228期(2022年5月16日)	4,869	10	△0.3	202.67	△0.3	—	98.3	3,578	
229期(2022年6月15日)	4,840	10	△0.4	201.06	△0.8	—	98.3	3,544	
230期(2022年7月15日)	5,043	10	4.4	211.49	5.2	—	98.3	3,683	
231期(2022年8月15日)	4,934	10	△2.0	207.71	△1.8	—	98.3	3,596	
232期(2022年9月15日)	5,016	10	1.9	210.34	1.3	—	98.3	3,626	
233期(2022年10月17日)	4,905	10	△2.0	207.24	△1.5	—	98.3	3,540	
234期(2022年11月15日)	4,785	10	△2.2	204.92	△1.1	—	98.3	3,424	
235期(2022年12月15日)	4,811	10	0.8	204.51	△0.2	—	98.3	3,431	
236期(2023年1月16日)	4,521	10	△5.8	194.01	△5.1	—	98.3	3,223	
237期(2023年2月15日)	4,637	10	2.8	198.56	2.3	—	98.4	3,272	
238期(2023年3月15日)	4,686	5	1.2	201.19	1.3	—	98.4	3,293	
239期(2023年4月17日)	4,713	5	0.7	203.58	1.2	—	98.3	3,293	
240期(2023年5月15日)	4,778	5	1.5	206.57	1.5	—	98.3	3,331	
241期(2023年6月15日)	4,883	5	2.3	209.90	1.6	—	98.4	3,331	
242期(2023年7月18日)	4,910	5	0.7	212.76	1.4	—	98.3	3,309	
243期(2023年8月15日)	5,019	5	2.3	216.67	1.8	—	98.4	3,367	
244期(2023年9月15日)	5,013	5	△0.0	217.46	0.4	—	98.3	3,334	
245期(2023年10月16日)	4,948	5	△1.2	216.73	△0.3	—	98.3	3,285	
246期(2023年11月15日)	5,105	5	3.3	224.66	3.7	—	98.3	3,346	
247期(2023年12月15日)	5,009	5	△1.8	220.54	△1.8	—	98.4	3,234	
248期(2024年1月15日)	5,067	5	1.3	225.27	2.1	—	98.3	3,254	
249期(2024年2月15日)	5,125	5	1.2	229.62	1.9	—	98.3	3,254	
250期(2024年3月15日)	5,112	5	△0.2	228.20	△0.6	—	98.3	3,203	
251期(2024年4月15日)	5,232	5	2.4	232.33	1.8	—	98.3	3,261	
252期(2024年5月15日)	5,348	5	2.3	239.54	3.1	0.1	98.3	3,325	
253期(2024年6月17日)	5,355	5	0.2	242.69	1.3	0.1	98.4	3,297	
254期(2024年7月16日)	5,449	5	1.8	246.60	1.6	0.1	98.3	3,316	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、設定時を100として2024年7月16日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) (参考指数)		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
第249期	(期 首) 2024年 1 月15日	円 5,067	% —	225.27	% —	—	—	% 98.3
	1 月末	5,103	0.7	228.02	1.2	—	—	98.4
	(期 末) 2024年 2 月15日	5,130	1.2	229.62	1.9	—	—	98.3
第250期	(期 首) 2024年 2 月15日	5,125	—	229.62	—	—	—	98.3
	2 月末	5,145	0.4	230.85	0.5	—	—	98.4
	(期 末) 2024年 3 月15日	5,117	△0.2	228.20	△0.6	—	—	98.3
第251期	(期 首) 2024年 3 月15日	5,112	—	228.20	—	—	—	98.3
	3 月末	5,242	2.5	233.63	2.4	—	—	98.4
	(期 末) 2024年 4 月15日	5,237	2.4	232.33	1.8	—	—	98.3
第252期	(期 首) 2024年 4 月15日	5,232	—	232.33	—	—	—	98.3
	4 月末	5,318	1.6	237.48	2.2	0.1	—	98.4
	(期 末) 2024年 5 月15日	5,353	2.3	239.54	3.1	0.1	—	98.3
第253期	(期 首) 2024年 5 月15日	5,348	—	239.54	—	0.1	—	98.3
	5 月末	5,339	△0.2	239.09	△0.2	0.1	—	98.3
	(期 末) 2024年 6 月17日	5,360	0.2	242.69	1.3	0.1	—	98.4
第254期	(期 首) 2024年 6 月17日	5,355	—	242.69	—	0.1	—	98.4
	6 月末	5,450	1.8	247.03	1.8	0.2	—	98.3
	(期 末) 2024年 7 月16日	5,454	1.8	246.60	1.6	0.1	—	98.3

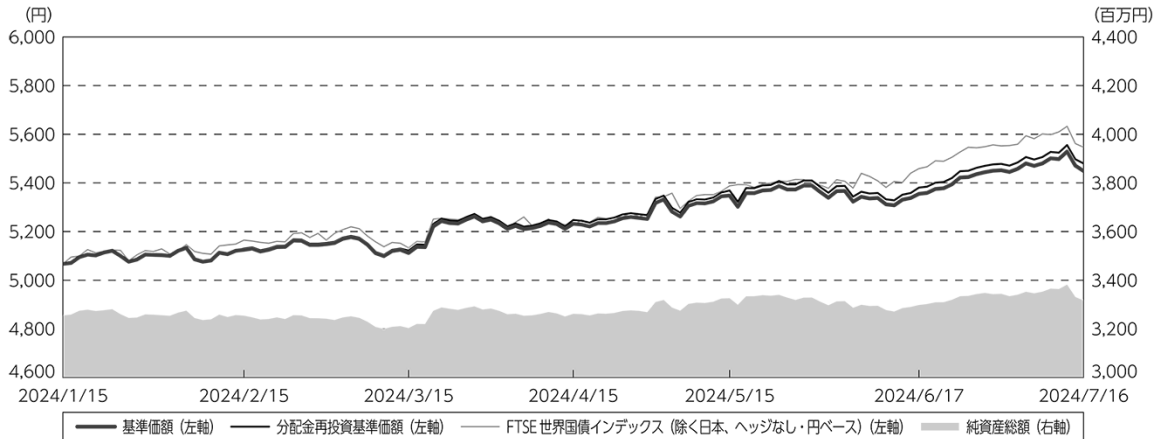
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2024年1月16日～2024年7月16日）

作成期間中の基準価額等の推移



第249期首：5,067円

第254期末：5,449円（既払分配金（税込み）：30円）

騰落率：8.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびFTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、作成期首（2024年1月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界先進国の信用度の高いソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・円安要因により参考指数が上昇したこと。
- ・通貨配分戦略がプラスに寄与したこと。
- ・資産間配分戦略がプラスに寄与したこと。

＜値下がり要因＞

- ・債券国別配分戦略がマイナスに影響したこと。

投資環境

（海外債券市況）

期間中は、米国の10年国債利回りをはじめ、欧州においても英国やドイツ、フランス、イタリアなどの主要国では利回りは期間の半ばにかけて緩やかに上昇（債券価格は下落）しました。

米国国債の利回りは、米国連邦準備制度理事会（FRB）が利下げを開始するとの観測から期間の前半では横ばいが続きました。しかし米国の経済指標が依然として市場予想を上回ったことから利下げ観測は後退し利回りは上昇に転じました。2024年4月には10年国債の利回りは4.6%に達しましたが、消費者物価指数（CPI）の伸びの鈍化から利回りは低下（債券価格は上昇）し、さらに6月のCPIは市場予想を下回り、総合CPIに至っては前月比でマイナスとなったことからFRBの利下げは確実視されるようになり、期間末では4.2%台前半になりました。

ドイツの国債利回りは、欧州中央銀行（ECB）が政策金利を据え置き、インフレ予想も低下したことから期間の前半では横ばいでしたが、その後は米国の長期利回りとともに緩やかに上昇しました。2024年6月になるとECBがついに金利を引き下げたことから国債利回りは急低下しましたが、期間末では2.4%台後半となりました。

日本においては日銀が大規模金融緩和政策を維持しましたが、2024年3月にゼロ金利政策の解除に踏み切りました。しかし金利の急速な上昇にはつながらず、その後は追加利上げの可能性や国債買入れ額が減額されるという予想も台頭したことから緩やかな上昇が続き、期間末では1.0%台前半となりました。

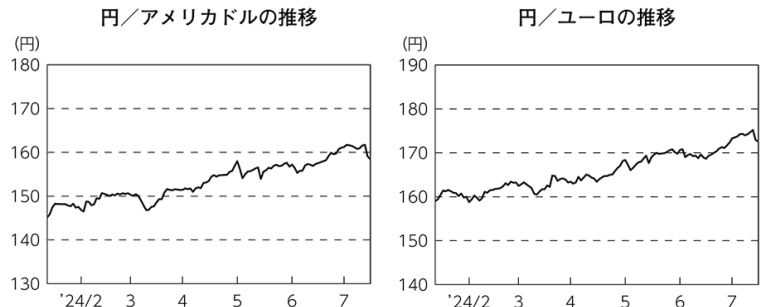
（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.01%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続いたものの、2024年3月の金融政策決定会合においてマイナス金利政策の解除が決定されたことから、0.08%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.22%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続いたものの、2024年3月にはマイナス金利政策の解除が決定されたことから、0.02%近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券を高位に組み入れ、残余部分は「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券を中心に組み入れて運用を行ないました。

（世界ソブリン・ベビーファンド）

「世界ソブリン・ベビーファンド」は、「計量世界債券マザーファンド」受益証券を高位に組み入れ、信託財産の長期的な成長を図ることを目標としたファンドです。

「計量世界債券マザーファンド」では、以下のような運用がなされました。

①債券・円短期金融商品における資産間配分

債券と円短期金融商品における資産間配分では、債券に対して弱気としました。期間中の資産間配分は本マザーファンドのパフォーマンスにプラス要因となったものと推定されます。

②債券国別配分

債券国別配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響はマイナスであったものと推定されます。カナダとイギリスに対して弱気としていたことがプラス要因となりましたが、フランスに対して強気としたことがマイナス要因となりました。

③通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行ないます。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、アメリカドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、アメリカドルの配分を減らすということになります。

期間中の通貨配分戦略は本マザーファンドのパフォーマンスにプラス要因となったものと推定されます。オーストラリアドルおよびユーロに対して強気としていたことがプラス要因となった一方で、ノルウェークローネ、カナダドル、スイスフランに対して弱気としたことがマイナス要因となりました。

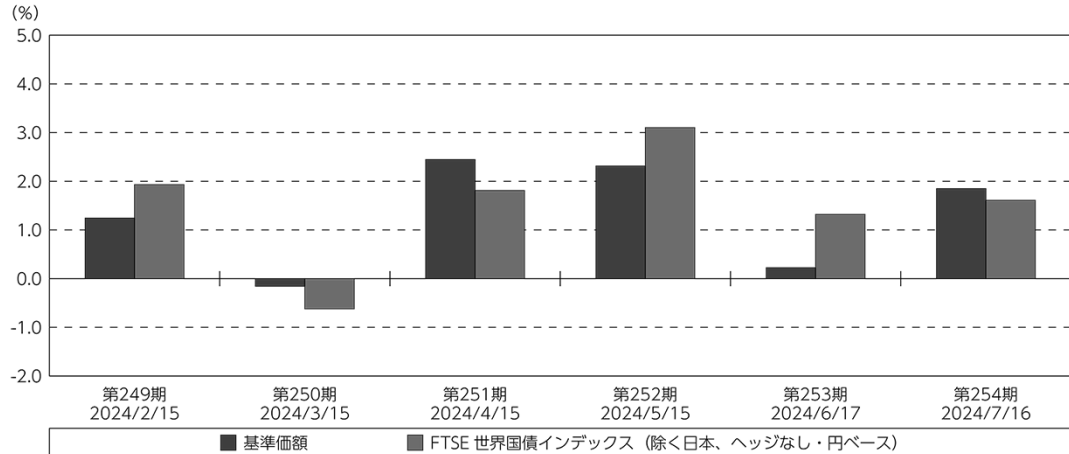
（マネー・オープン・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第249期	第250期	第251期	第252期	第253期	第254期
	2024年1月16日～ 2024年2月15日	2024年2月16日～ 2024年3月15日	2024年3月16日～ 2024年4月15日	2024年4月16日～ 2024年5月15日	2024年5月16日～ 2024年6月17日	2024年6月18日～ 2024年7月16日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 0.097%	5 0.098%	5 0.095%	5 0.093%	5 0.093%	5 0.092%
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	83	84	86	89	90	93

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、原則として「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券を高位に組み入れ、残余部分は「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券を中心に組み入れて運用を行ないます。

（世界ソブリン・ベビーファンド）

主として「計量世界債券マザーファンド」受益証券に投資し、原則として、その組入比率を高位に保ちます。これにより、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざします。

債券国別、通貨、資産間の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

①債券・円短期金融商品間における資産間配分

資産間配分では、円キャッシュに対し、モメンタムの観点から世界債券にやや弱気の見通しとしています。

②債券国別配分

債券国別配分においては、フランスやドイツに対して強気の見通しとする一方で、カナダやその他欧州各国に対して弱気の見通しとしています。フランスとドイツに対してはバリュエの観点から強気とする一方で、カナダとその他欧州各国に対してはマクロおよびモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

③通貨配分

通貨配分においては、オーストラリアやノルウェーに強気の見通しとする一方で、カナダや英国に対して弱気の見通しとしています。オーストラリアに対してはリスク・プレミアムの観点から、ノルウェーに対してはバリュエおよびモメンタムの観点から強気の見通しとする一方で、カナダに対しては、バリュエおよびリスク・プレミアムの観点から、英国に対してはリスク・プレミアムおよびマクロの観点から弱気の見通しとしています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・オープン・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 1月16日～2024年 7月16日)

項 目	第249期～第254期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 12	% 0.220	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(2)	(0.044)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(8)	(0.159)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	12	0.222	
作成期間の平均基準価額は、5,266円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

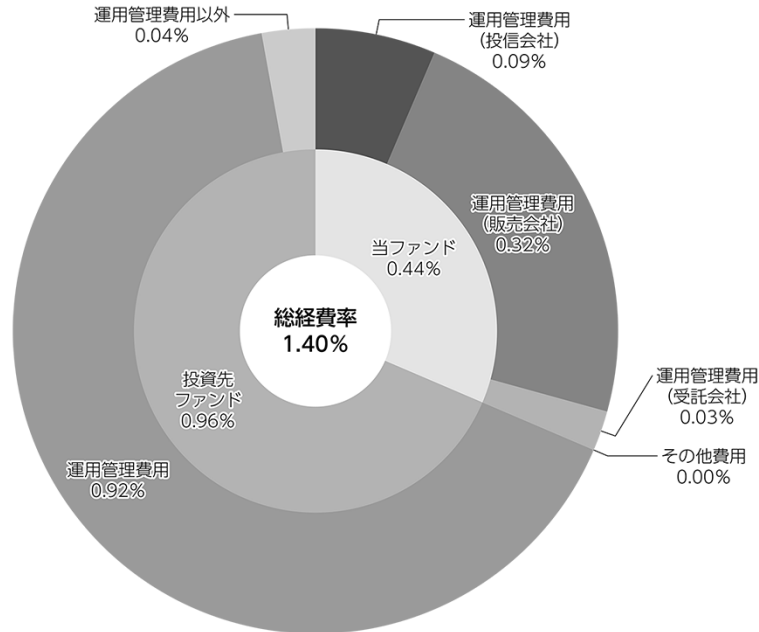
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.40%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.40
①当ファンドの費用の比率	0.44
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.92
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年1月16日～2024年7月16日)

投資信託証券

銘柄		第249期～第254期			
		買付		売却	
		口数	金額	口数	金額
国内	世界ソブリン・ベビーファンド	千口 42,700	千円 28,689	千口 302,698	千円 203,377

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第249期～第254期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・オープン・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 50	千円 51

○利害関係人との取引状況等

(2024年1月16日～2024年7月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年1月16日～2024年7月16日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年1月16日～2024年7月16日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年7月16日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第248期末	第254期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
世界ソブリン・ベビーファンド		4,943,464	4,683,467	3,261,098	98.3
合	計	4,943,464	4,683,467	3,261,098	98.3

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	第248期末	第254期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
マネー・オープン・マザーファンド		6,352	6,301	6,398

(注) 親投資信託の2024年7月16日現在の受益権総口数は、291,163千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年7月16日現在)

項	目	第254期末	
		評価額	比率
		千円	%
投資信託受益証券		3,261,098	97.7
マネー・オープン・マザーファンド		6,398	0.2
コール・ローン等、その他		69,290	2.1
投資信託財産総額		3,336,786	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第249期末	第250期末	第251期末	第252期末	第253期末	第254期末
	2024年2月15日現在	2024年3月15日現在	2024年4月15日現在	2024年5月15日現在	2024年6月17日現在	2024年7月16日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,264,259,427	3,207,761,849	3,268,127,431	3,330,505,426	3,304,908,559	3,336,786,199
コール・ローン等	49,340,660	49,394,256	49,771,158	47,732,072	47,174,032	50,166,678
投資信託受益証券(評価額)	3,199,001,834	3,148,730,736	3,206,344,183	3,270,442,883	3,245,238,314	3,261,098,294
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	6,448,672	6,397,591	6,398,221	6,398,221	6,398,851	6,398,851
未収入金	9,468,261	3,239,266	5,613,757	5,932,143	6,097,256	19,122,264
未収利息	—	—	112	107	106	112
(B) 負債	10,240,317	4,719,665	6,601,990	4,744,965	7,045,502	20,425,536
未払収益分配金	3,174,813	3,132,570	3,117,124	3,109,422	3,079,023	3,043,311
未払解約金	5,835,271	447,002	2,258,250	439,684	2,640,261	16,207,410
未払信託報酬	1,218,062	1,128,812	1,214,479	1,184,030	1,313,097	1,163,195
未払利息	1	1	—	—	—	—
その他未払費用	12,170	11,280	12,137	11,829	13,121	11,620
(C) 純資産総額(A－B)	3,254,019,110	3,203,042,184	3,261,525,441	3,325,760,461	3,297,863,057	3,316,360,663
元本	6,349,627,310	6,265,141,659	6,234,249,613	6,218,844,488	6,158,046,175	6,086,623,773
次期繰越損益金	△3,095,608,200	△3,062,099,475	△2,972,724,172	△2,893,084,027	△2,860,183,118	△2,770,263,110
(D) 受益権総口数	6,349,627,310口	6,265,141,659口	6,234,249,613口	6,218,844,488口	6,158,046,175口	6,086,623,773口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,125円	5,112円	5,232円	5,348円	5,355円	5,449円

(注) 当ファンドの第249期元本額は6,423,227,204円、第249～254期中追加設定元本額は24,798,955円、第249～254期中一部解約元本額は361,402,386円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第249期0.5125円、第250期0.5112円、第251期0.5232円、第252期0.5348円、第253期0.5355円、第254期0.5449円です。

(注) 2024年7月16日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は2,770,263,110円です。

○損益の状況

項 目	第249期	第250期	第251期	第252期	第253期	第254期
	2024年1月16日～ 2024年2月15日	2024年2月16日～ 2024年3月15日	2024年3月16日～ 2024年4月15日	2024年4月16日～ 2024年5月15日	2024年5月16日～ 2024年6月17日	2024年6月18日～ 2024年7月16日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	4,880,843	4,814,491	4,798,431	4,781,286	4,736,265	4,678,783
受取配当金	4,881,074	4,814,584	4,795,654	4,778,060	4,732,621	4,675,593
受取利息	-	-	2,781	3,226	3,644	3,190
支払利息	△ 231	△ 93	△ 4	-	-	-
(B) 有価証券売買損益	36,148,727	△ 8,223,612	73,813,683	71,818,285	4,283,860	56,281,267
売買益	36,434,593	111,644	74,232,770	71,870,728	4,422,923	57,119,089
売買損	△ 285,866	△ 8,335,256	△ 419,087	△ 52,443	△ 139,063	△ 837,822
(C) 信託報酬等	△ 1,230,232	△ 1,140,092	△ 1,226,616	△ 1,195,859	△ 1,326,218	△ 1,174,815
(D) 当期損益金 (A + B + C)	39,799,338	△ 4,549,213	77,385,498	75,403,712	7,693,907	59,785,235
(E) 前期繰越損益金	△1,889,331,949	△1,827,042,504	△1,823,763,694	△1,744,221,148	△1,654,590,945	△1,629,756,696
(F) 追加信託差損益金	△1,242,900,776	△1,227,375,188	△1,223,228,852	△1,221,157,169	△1,210,207,057	△1,197,248,338
(配当等相当額)	(37,349,336)	(36,860,823)	(36,695,548)	(36,614,292)	(36,267,489)	(35,859,744)
(売買損益相当額)	(△1,280,250,112)	(△1,264,236,011)	(△1,259,924,400)	(△1,257,771,461)	(△1,246,474,546)	(△1,233,108,082)
(G) 計 (D + E + F)	△3,092,433,387	△3,058,966,905	△2,969,607,048	△2,889,974,605	△2,857,104,095	△2,767,219,799
(H) 収益分配金	△ 3,174,813	△ 3,132,570	△ 3,117,124	△ 3,109,422	△ 3,079,023	△ 3,043,311
次期繰越損益金 (G + H)	△3,095,608,200	△3,062,099,475	△2,972,724,172	△2,893,084,027	△2,860,183,118	△2,770,263,110
追加信託差損益金	△1,242,900,776	△1,227,375,188	△1,223,228,852	△1,221,157,169	△1,210,207,057	△1,197,248,338
(配当等相当額)	(37,349,336)	(36,860,823)	(36,695,548)	(36,614,292)	(36,267,489)	(35,859,744)
(売買損益相当額)	(△1,280,250,112)	(△1,264,236,011)	(△1,259,924,400)	(△1,257,771,461)	(△1,246,474,546)	(△1,233,108,082)
分配準備積立金	15,473,154	15,800,630	17,313,078	18,858,330	19,623,835	20,928,780
繰越損益金	△1,868,180,578	△1,850,524,917	△1,766,808,398	△1,690,785,188	△1,669,599,896	△1,593,943,552

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2024年1月16日～2024年7月16日)は以下の通りです。

項 目	2024年1月16日～ 2024年2月15日	2024年2月16日～ 2024年3月15日	2024年3月16日～ 2024年4月15日	2024年4月16日～ 2024年5月15日	2024年5月16日～ 2024年6月17日	2024年6月18日～ 2024年7月16日
a. 配当等収益(経費控除後)	4,734,418円	3,674,389円	4,723,966円	4,706,869円	4,040,067円	4,588,733円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	37,349,336円	36,860,823円	36,695,548円	36,614,292円	36,267,489円	35,859,744円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	13,913,549円	15,258,811円	15,706,236円	17,260,883円	18,662,791円	19,383,358円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	55,997,303円	55,794,023円	57,125,750円	58,582,044円	58,970,347円	59,831,835円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	88円	89円	91円	94円	95円	98円
g. 分配金	3,174,813円	3,132,570円	3,117,124円	3,109,422円	3,079,023円	3,043,311円
h. 分配金(1万口当たり)	5円	5円	5円	5円	5円	5円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

	第249期	第250期	第251期	第252期	第253期	第254期
1 万口当たり分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

○お知らせ

約款変更について

2024年1月16日から2024年7月16日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

世界ソブリン・ ベビーファンド

追加型投信／海外／債券

第254期末(2024年7月12日)	第249期～第254期		
基準価額	6,985円	騰落率	9.0%
純資産総額	3,504百万円	分配金合計	60円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	原則として無期限
運用方針	世界各国の債券、通貨を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの構築には、ゴールドマン・サックスが開発した計量モデルを使い、ベンチマークを上回る投資成果をめざします。計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施します。
主要投資対象	
本ファンド	計量世界債券マザーファンドの受益証券
計量世界債券マザーファンド	債券先物取引、円短期金融商品を含む世界各国の債券、通貨
運用方法・組入制限	①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。 ②本ファンドおよびマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。 ・外貨建資産への投資については制限を設けません。 ・株式への投資割合は、信託財産の5%以下とします。
分配方針	原則として毎計算期末(毎月14日。休業日の場合は前営業日。)に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の配当等収益および売買損益(評価損益を含みます。)等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

第249期(決算日2024年2月14日)
第250期(決算日2024年3月14日)
第251期(決算日2024年4月12日)
第252期(決算日2024年5月14日)
第253期(決算日2024年6月14日)
第254期(決算日2024年7月12日)

作成対象期間:2024年1月13日～2024年7月12日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「世界ソブリン・ベビーファンド」は、このたび、第249期～第254期の決算を行いました。本ファンドは、独自開発の計量運用モデルを用いて世界各国の債券、通貨に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒105-5543 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー
お問合せ先:03-4587-6000(代表) | www.gsam.co.jp
受付時間:営業日の午前9時～午後5時

■最近5作成期の運用実績

決算期		基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	ベンチマーク	期中 騰落率	債券	債券	純資産 総額
							組入比率	先物比率	
		円	円	%		%	%	%	百万円
①	225期(2022年2月14日)	6,018	10	△2.5	19,857	△1.6	91.3	△26.0	3,736
	226期(2022年3月14日)	6,071	10	1.0	19,810	△0.2	83.7	△11.3	3,750
	227期(2022年4月14日)	6,233	10	2.8	20,303	2.5	82.3	△21.8	3,835
	228期(2022年5月13日)	6,164	10	△0.9	20,241	△0.3	82.1	△14.8	3,778
	229期(2022年6月14日)	6,137	10	△0.3	20,080	△0.8	81.5	△43.3	3,737
	230期(2022年7月14日)	6,399	10	4.4	21,121	5.2	82.4	△23.6	3,880
②	231期(2022年8月12日)	6,297	10	△1.4	20,744	△1.8	82.6	△9.6	3,798
	232期(2022年9月14日)	6,434	10	2.3	21,006	1.3	81.7	△29.9	3,846
	233期(2022年10月14日)	6,247	10	△2.8	20,697	△1.5	80.5	△11.1	3,723
	234期(2022年11月14日)	6,080	10	△2.5	20,465	△1.1	81.9	△27.4	3,592
	235期(2022年12月14日)	6,126	10	0.9	20,425	△0.2	83.1	△26.6	3,601
	236期(2023年1月13日)	5,841	10	△4.5	19,376	△5.1	83.3	△21.7	3,432
③	237期(2023年2月14日)	5,916	10	1.5	19,830	2.3	83.0	△29.4	3,438
	238期(2023年3月14日)	5,949	10	0.7	20,093	1.3	84.2	△12.6	3,446
	239期(2023年4月14日)	6,007	10	1.1	20,332	1.2	84.7	4.2	3,454
	240期(2023年5月12日)	6,084	10	1.4	20,630	1.5	84.7	22.4	3,495
	241期(2023年6月14日)	6,220	10	2.4	20,963	1.6	85.1	△3.0	3,496
	242期(2023年7月14日)	6,225	10	0.2	21,157	0.9	86.5	6.1	3,459
④	243期(2023年8月14日)	6,401	10	3.0	21,639	2.3	85.4	△41.5	3,542
	244期(2023年9月14日)	6,412	10	0.3	21,718	0.4	86.0	1.6	3,519
	245期(2023年10月13日)	6,335	10	△1.0	21,645	△0.3	85.8	△25.1	3,451
	246期(2023年11月14日)	6,490	10	2.6	22,437	3.7	87.0	0.2	3,492
	247期(2023年12月14日)	6,311	10	△2.6	22,025	△1.8	90.1	△9.8	3,354
	248期(2024年1月12日)	6,463	10	2.6	22,498	2.1	90.4	△25.7	3,422
⑤	249期(2024年2月14日)	6,536	10	1.3	22,932	1.9	90.6	△7.6	3,422
	250期(2024年3月14日)	6,540	10	0.2	22,790	△0.6	83.7	△7.2	3,372
	251期(2024年4月12日)	6,650	10	1.8	23,203	1.8	83.0	△3.0	3,417
	252期(2024年5月14日)	6,824	10	2.8	23,922	3.1	83.2	△24.5	3,493
	253期(2024年6月14日)	6,814	10	0.0	24,238	1.3	85.2	△25.2	3,465
	254期(2024年7月12日)	6,985	10	2.7	24,607	1.5	85.9	△24.7	3,504

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ベンチマーク (F T S E世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注4) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率、債券先物比率は、実質比率を記載しております。

■過去6ヶ月間の基準価額と市況推移

決算期	年 月 日	基準価額		ベンチマーク		債 券	債 券
			騰落率		騰落率	組入比率	先物比率
第249期	(期 首)2024年 1月12日	円	%		%	%	%
	1月末	6,463	—	22,498	—	90.4	△25.7
	(期 末)2024年 2月14日	6,521	0.9	22,678	0.8	90.5	2.6
第250期	(期 首)2024年 2月14日	6,546	1.3	22,932	1.9	90.6	△7.6
	2月末	6,536	—	22,932	—	90.6	△7.6
	(期 末)2024年 3月14日	6,574	0.6	22,932	△0.0	91.2	△11.3
第251期	(期 首)2024年 3月14日	6,550	0.2	22,790	△0.6	83.7	△7.2
	3月末	6,540	—	22,790	—	83.7	△7.2
	(期 末)2024年 4月12日	6,700	2.4	23,338	2.4	83.3	△7.7
第252期	(期 首)2024年 4月12日	6,660	1.8	23,203	1.8	83.0	△3.0
	4月末	6,650	—	23,203	—	83.0	△3.0
	(期 末)2024年 5月14日	6,798	2.2	23,723	2.2	82.8	△8.4
第253期	(期 首)2024年 5月14日	6,834	2.8	23,922	3.1	83.2	△24.5
	5月末	6,824	—	23,922	—	83.2	△24.5
	(期 末)2024年 6月14日	6,824	0.0	24,035	0.5	83.2	△33.1
第254期	(期 首)2024年 6月14日	6,824	0.0	24,238	1.3	85.2	△25.2
	6月末	6,814	—	24,238	—	85.2	△25.2
	(期 末)2024年 7月12日	6,967	2.2	24,652	1.7	85.4	△18.0
		6,995	2.7	24,607	1.5	85.9	△24.7

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

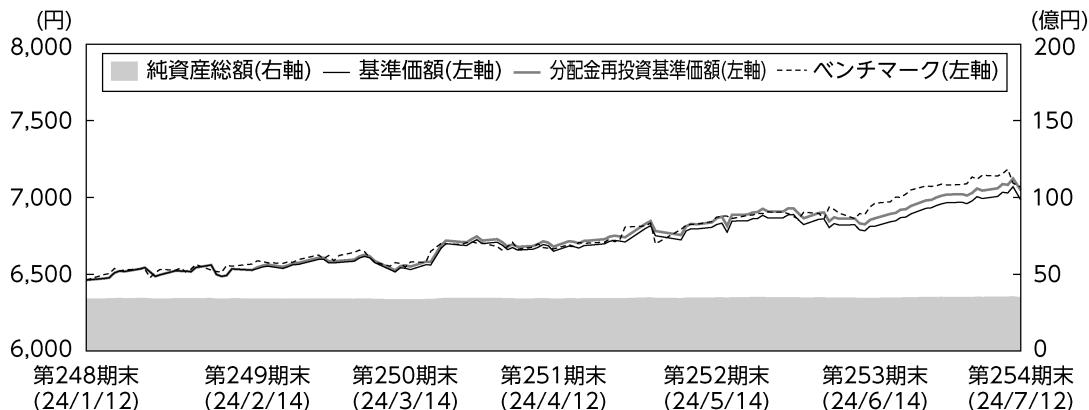
(注2) ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース））は、2003年3月27日（設定日）を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率、債券先物比率は、実質比率を記載しております。

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2024年1月13日～2024年7月12日）



第249期首：6,463円

第254期末：6,985円

（当作成期中にお支払いした分配金：60円）

騰落率：+9.0%（分配金再投資ベース）

- (注1) ベンチマークはFTSE世界国債インデックス（日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース）です。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額、ベンチマークは、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。
- (注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の6,463円から522円上昇し、期末には6,985円となりました。

上昇要因

主要投資対象通貨である米ドルやユーロ、英ポンドなどが対円で上昇したことや、通貨配分戦略および資産間配分戦略がプラスに寄与したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

債券国別配分戦略がマイナスに寄与したことや、分配金をお支払いしたことなどが、基準価額の下落要因となりました。

■投資環境について

<外国債券市場>

当期は、主要先進国の10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

米国債の利回りは、F R B（米連邦準備制度理事会）が利下げを開始するとの観測から期の前半では横ばいが続きました。しかし、米国の経済指標が依然として市場予想を上回ったことから利下げ観測が後退すると利回りは上昇に転じ、4月下旬には10年国債の利回りは4.7%に達しました。その後、C P I（消費者物価指数）の伸びの鈍化から利回りは低下し、加えて6月のC P Iは市場予想を下回り、総合C P Iに至っては前月比マイナスとなったことでF R Bの利下げは確実視されるようになり、期末では4.2%となりました。

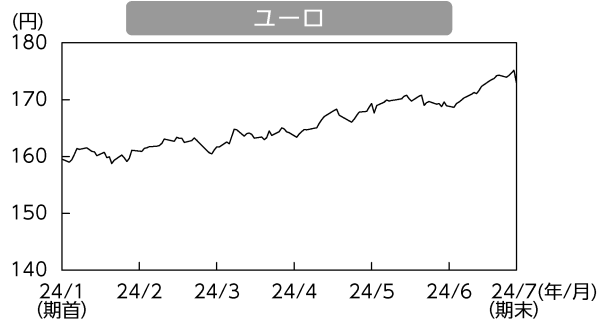
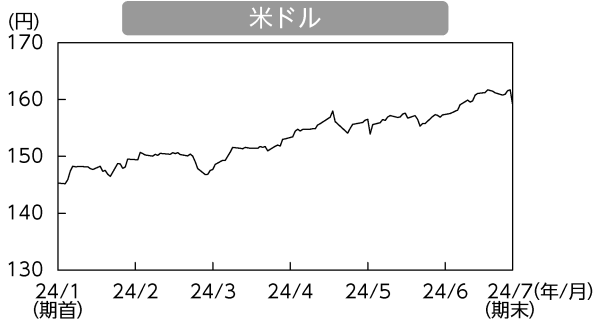
ドイツ国債の利回りは、E C B（欧州中央銀行）が政策金利を据え置き、インフレ予想も低下したことから期の前半では横ばいでしたが、その後は米国の長期利回りとともに緩やかに上昇しました。6月になるとE C Bがついに金利を引き下げたことから利回りは急低下しましたが、期末では2.5%となりました。

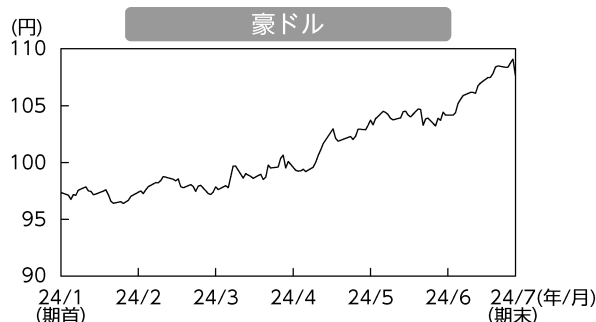
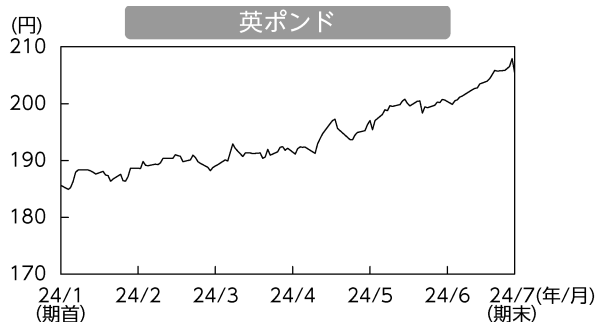
日本では、日本銀行は大規模金融緩和策を維持しましたが、3月にマイナス金利政策の解除に踏み切りました。しかし、日本国債の利回りの急速な上昇にはつながらず、その後は追加利上げの可能性や国債買入れ額が減額されるという予想も台頭したことから緩やかな上昇が続き、期末では1.1%でした。

<外国為替市場>

外国為替市場は、主要先進国通貨は円に対して総じて上昇しました。

○為替レート（対円）の推移





出所：三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値（T T Mレート）

■ポートフォリオについて

<本ファンド>

計量世界債券マザーファンドの組入れを高位に維持することにより、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが開発した計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施しながら、世界各国の債券、通貨への投資を行いました。

<本マザーファンド>

ベンチマークの構成比率を基本資産配分比率としながら、市場見通しにより債券と通貨の資産配分を機動的に変更するアクティブ運用を行いました。

債券・円短期金融商品における資産間配分

当期における資産間配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響は、プラスであったものと推定されます。

債券国別配分

当期における債券国別配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響は、マイナスであったものと推定されます。カナダと英国に対して弱気としていたことがプラス要因となりましたが、フランスに対して強気としたことがマイナス要因となりました。

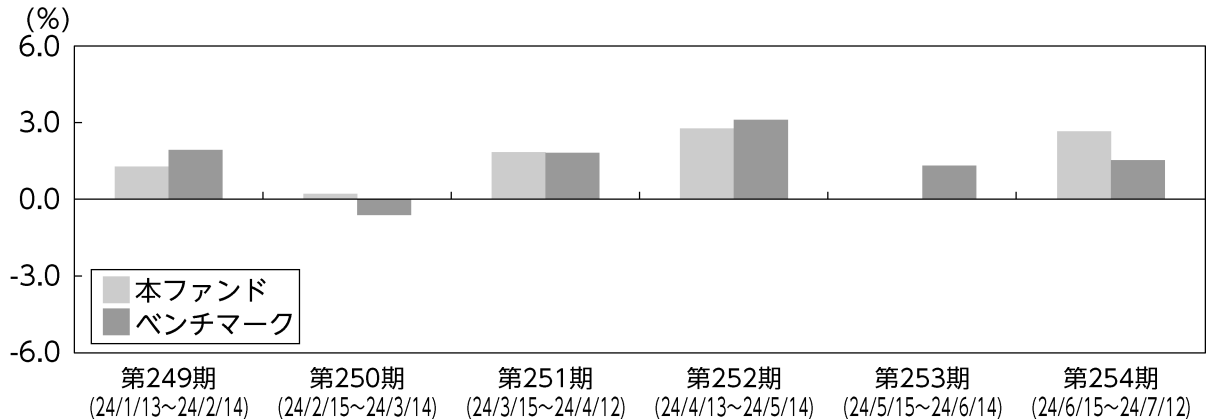
通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行います。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、米ドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、米ドルの配分を減らすということになります。

当期における通貨配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響は、プラスであったものと推定されます。オーストラリア・ドルおよびユーロに対して強気としていたことがプラス要因となった一方で、ノルウェー・クローネ、カナダ・ドル、スイス・フランに対して弱気としたことがマイナス要因となりました。

■ベンチマークとの差異について

＜当期の基準価額とベンチマークの対比（騰落率）＞



(注1) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) ベンチマークはFTSE世界国債インデックス（日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース）です。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は+9.0%となり、ベンチマーク（+9.4%）を下回りました。

当期においては、通貨配分および資産間配分がプラス寄与となった一方、債券国別配分がマイナス寄与となりました。

■分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第249期から第254期は各10円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

今後の運用方針について

＜本ファンド＞

今後も引き続き本マザーファンド受益証券の組入れを高位に維持し、世界各国の債券および通貨への投資を通じて、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目指していきます。

＜本マザーファンド＞

資産間、債券国別、通貨の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

債券・円短期金融商品における資産間配分

モメンタムの観点から、世界債券にやや弱気の見通しとしています。

債券国別配分

フランスやドイツに対して強気の見通しとする一方で、カナダやその他欧州各国に対して弱気の見通しとしています。フランスとドイツに対してはバリュウの観点から強気とする一方で、カナダとその他欧州各国に対してはマクロおよびモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

通貨配分

オーストラリア・ドルやノルウェー・クローネに強気の見通しとする一方で、カナダ・ドルや英ポンドに対して弱気の見通しとしています。オーストラリア・ドルに対してはリスク・プレミアムの観点から、ノルウェー・クローネに対してはバリュウおよびモメンタムの観点から強気の見通しとする一方で、カナダ・ドルに対しては、バリュウおよびリスク・プレミアムの観点から、英ポンドに対してはリスク・プレミアムおよびマクロの観点から弱気の見通しとしています。

(上記見通しは2024年7月12日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

■1万口当たりの費用明細

項目	第249期～第254期		項目の概要
	2024年1月13日～2024年7月12日		
	金額	比率	
信託報酬	31円	0.465%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(投信会社)	(20)	(0.301)	
(販売会社)	(11)	(0.159)	
(受託会社)	(0)	(0.005)	
売買委託手数料	1	0.018	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(先物・オプション)	(1)	(0.013)	
(プライムブローカー)	(0)	(0.005)	
その他費用	2	0.023	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(保管費用)	(0)	(0.002)	
(監査費用)	(0)	(0.003)	
(その他)	(1)	(0.019)	
合計	34	0.506	

期中の平均基準価額は6,730円です。

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2024年1月13日から2024年7月12日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第249期～第254期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
計 量 世 界 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	16,816	36,622	124,013	271,315

■ 利害関係人との取引状況等 (2024年1月13日から2024年7月12日まで)

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細 (2024年7月12日現在)

親投資信託残高

種 類	第248期末	第254期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
計 量 世 界 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	1,635,334	1,528,137	3,512,118

■投資信託財産の構成

2024年7月12日現在

項 目	第254期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
計 量 世 界 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	3,512,118	99.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	21,960	0.6
投 資 信 託 財 産 総 額	3,534,078	100.0

(注1) 計量世界債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,068,857千円)の投資信託財産総額(3,616,478千円)に対する比率は84.9%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=159.11円、1カナダドル=116.72円、1ユーロ=172.94円、1英ポンド=205.47円、1オーストラリアドル=107.59円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第249期末	第250期末	第251期末	第252期末	第253期末	第254期末
	2024年2月14日	2024年3月14日	2024年4月12日	2024年5月14日	2024年6月14日	2024年7月12日
(A) 資 産	3,444,023,477円	3,391,313,270円	3,429,027,943円	3,507,929,273円	3,479,227,992円	3,534,078,859円
計量世界債券マザー ファンド(評価額)	3,430,584,850	3,380,493,837	3,425,390,230	3,501,997,131	3,473,130,737	3,512,118,335
未 収 入 金	13,438,627	10,819,433	3,637,713	5,932,142	6,097,255	21,960,524
(B) 負 債	21,638,245	18,563,265	11,385,359	13,950,177	14,022,908	29,552,776
未 払 収 益 分 配 金	5,236,030	5,156,877	5,139,037	5,119,824	5,085,390	5,017,176
未 払 解 約 金	13,438,627	10,819,433	3,637,713	5,932,142	6,097,255	21,960,524
未 払 信 託 報 酬	2,895,139	2,527,202	2,548,358	2,831,270	2,774,661	2,523,031
そ の 他 未 払 費 用	68,449	59,753	60,251	66,941	65,602	52,045
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,422,385,232	3,372,750,005	3,417,642,584	3,493,979,096	3,465,205,084	3,504,526,083
元 本	5,236,030,828	5,156,877,391	5,139,037,869	5,119,824,588	5,085,390,477	5,017,176,904
次 期 繰 越 損 益 金	△1,813,645,596	△1,784,127,386	△1,721,395,285	△1,625,845,492	△1,620,185,393	△1,512,650,821
(D) 受 益 権 総 口 数	5,236,030,828口	5,156,877,391口	5,139,037,869口	5,119,824,588口	5,085,390,477口	5,017,176,904口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,536円	6,540円	6,650円	6,824円	6,814円	6,985円

(注) 当作成期首元本額は5,295,512,881円、当作成期間(第249期～第254期)中において、追加設定元本額は54,923,004円、同解約元本額は333,258,981円です。

■ 損益の状況

項 目	第249期	第250期	第251期	第252期	第253期	第254期
	自2024年1月13日 至2024年2月14日	自2024年2月15日 至2024年3月14日	自2024年3月15日 至2024年4月12日	自2024年4月13日 至2024年5月14日	自2024年5月15日 至2024年6月14日	自2024年6月15日 至2024年7月12日
(A) 有価証券売買損益	46,319,843円	9,845,822円	64,307,908円	97,132,209円	2,616,580円	93,394,356円
売 買 益	46,791,439	10,160,462	64,727,593	97,504,615	2,918,030	94,750,362
売 買 損	△ 471,596	△ 314,640	△ 419,685	△ 372,406	△ 301,450	△ 1,356,006
(B) 信託報酬等	△ 2,963,588	△ 2,586,955	△ 2,608,609	△ 2,898,211	△ 2,840,263	△ 2,575,076
(C) 当期損益金(A+B)	43,356,255	7,258,867	61,699,299	94,233,998	△ 223,683	90,819,280
(D) 前期繰越損益金	△ 552,893,541	△ 506,215,255	△ 501,602,342	△ 442,711,345	△ 350,145,395	△ 350,172,646
(E) 追加信託差損益金	△ 1,298,872,280	△ 1,280,014,121	△ 1,276,353,205	△ 1,272,248,321	△ 1,264,730,925	△ 1,248,280,279
(配当等相当額)	(31,710,927)	(31,395,010)	(31,444,675)	(31,487,676)	(31,604,867)	(31,367,197)
(売買損益相当額)	(△ 1,330,583,207)	(△ 1,311,409,131)	(△ 1,307,797,880)	(△ 1,303,735,997)	(△ 1,296,335,792)	(△ 1,279,647,476)
(F) 計(C+D+E)	△ 1,808,409,566	△ 1,778,970,509	△ 1,716,256,248	△ 1,620,725,668	△ 1,615,100,003	△ 1,507,633,645
(G) 収益分配金	△ 5,236,030	△ 5,156,877	△ 5,139,037	△ 5,119,824	△ 5,085,390	△ 5,017,176
次期繰越損益金(F+G)	△ 1,813,645,596	△ 1,784,127,386	△ 1,721,395,285	△ 1,625,845,492	△ 1,620,185,393	△ 1,512,650,821
追加信託差損益金	△ 1,298,872,280	△ 1,280,014,121	△ 1,276,353,205	△ 1,272,248,321	△ 1,264,730,925	△ 1,248,280,279
(配当等相当額)	(31,737,022)	(31,411,919)	(31,460,029)	(31,505,219)	(31,639,761)	(31,380,665)
(売買損益相当額)	(△ 1,330,609,302)	(△ 1,311,426,040)	(△ 1,307,813,234)	(△ 1,303,753,540)	(△ 1,296,370,686)	(△ 1,279,660,944)
分配準備積立金	91,337,819	92,960,280	96,959,492	102,608,044	105,025,101	107,252,015
繰越損益金	△ 606,111,135	△ 597,073,545	△ 542,001,572	△ 456,205,215	△ 460,479,569	△ 371,622,557

(注1) 損益の状況の中で (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 収益分配金の計算過程において、マザーファンドの配当等収益を繰入れております。

■ 分配金のお知らせ

決 算 期	第249期	第250期	第251期	第252期	第253期	第254期
1万円当たり分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円

◇分配金につきましては、販売会社が、自動けいぞく投資契約（販売会社によっては名称が異なる場合もございます）に基づいて、ファンドへの再投資を行っております。

■ 分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第249期	第250期	第251期	第252期	第253期	第254期
	2024年1月13日 ~2024年2月14日	2024年2月15日 ~2024年3月14日	2024年3月15日 ~2024年4月12日	2024年4月13日 ~2024年5月14日	2024年5月15日 ~2024年6月14日	2024年6月15日 ~2024年7月12日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.153	0.153	0.150	0.146	0.147	0.143
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	235	241	249	261	268	276

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

計量世界債券 マザーファンド

親投資信託

第43期（決算日2024年7月12日）

作成対象期間:2024年1月13日～2024年7月12日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
法令・諸規則に基づき、親投資信託(マザーファンド)の
期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上
げます。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	原則として無期限
運用方針	世界各国の債券、通貨を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの構築には、ゴールドマン・サックスが開発した計量モデルを使い、ベンチマークを上回る投資成果をめざします。計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施します。
主要投資対象	債券先物取引、円短期金融商品を含む世界各国の債券、通貨
組入制限	①外貨建資産への投資については制限を設けません。 ②株式への投資割合は、信託財産の5%以下とします。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	期中騰落率	円	期中騰落率			
39期(2022年7月14日)	19,889	5.0	21,121	4.6	82.2	△23.6	3,889
40期(2023年1月13日)	18,422	△7.4	19,376	△8.3	83.1	△21.7	3,441
41期(2023年7月14日)	19,921	8.1	21,157	9.2	86.2	6.1	3,467
42期(2024年1月12日)	20,978	5.3	22,498	6.3	90.2	△25.7	3,430
43期(2024年7月12日)	22,983	9.6	24,607	9.4	85.7	△24.7	3,512

(注1) ベンチマーク (F T S E世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

■当期中の基準価額と市況推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債券組入比率	債券先物比率
	円	騰落率	円	騰落率		
(期首) 2024年1月12日	20,978	—	22,498	—	90.2	△25.7
1月末	21,176	0.9	22,678	0.8	90.4	2.6
2月末	21,397	2.0	22,932	1.9	91.2	△11.3
3月末	21,856	4.2	23,338	3.7	83.3	△7.7
4月末	22,229	6.0	23,723	5.4	82.8	△8.4
5月末	22,365	6.6	24,035	6.8	83.1	△33.1
6月末	22,884	9.1	24,652	9.6	85.4	△18.0
(期末) 2024年7月12日	22,983	9.6	24,607	9.4	85.7	△24.7

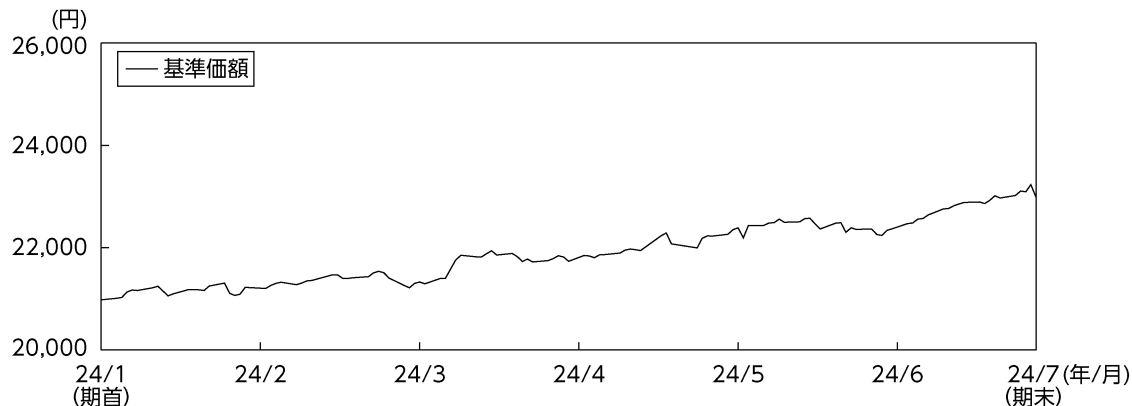
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) ベンチマーク (F T S E世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

運用経過

■基準価額の推移について（2024年1月13日～2024年7月12日）



■基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の20,978円から2,005円上昇し、期末には22,983円となりました。

上昇要因

主要投資対象通貨である米ドルやユーロ、英ポンドなどが対円で上昇したことや、通貨配分戦略および資産間配分戦略がプラスに寄与したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

債券国別配分戦略がマイナスに寄与したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

■投資環境について

<外国債券市場>

当期は、主要先進国の10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

米国債の利回りは、F R B（米連邦準備制度理事会）が利下げを開始するとの観測から期の前半では横ばいが続きました。しかし、米国の経済指標が依然として市場予想を上回ったことから利下げ観測が後退すると利回りは上昇に転じ、4月下旬には10年国債の利回りは4.7%に達しました。その後、C P I（消費者物価指数）の伸びの鈍化から利回りは低下し、加えて6月のC P Iは市場予想を下回り、総合C P Iに至っては前月比マイナスとなったことでF R Bの利下げは確実視されるようになり、期末では4.2%となりました。

ドイツ国債の利回りは、E C B（欧州中央銀行）が政策金利を据え置き、インフレ予想も低下したことから期の前半では横ばいでしたが、その後は米国の長期利回りとともに緩やかに上昇しました。6月

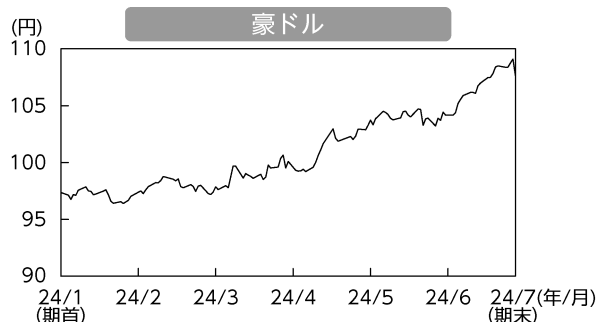
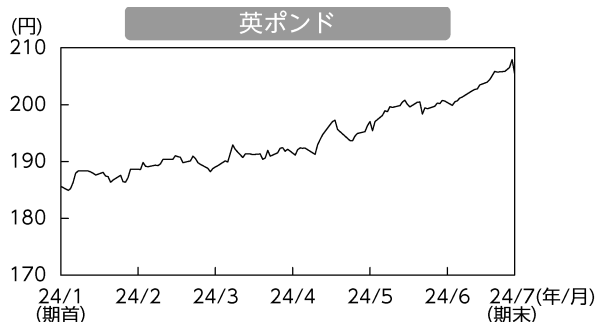
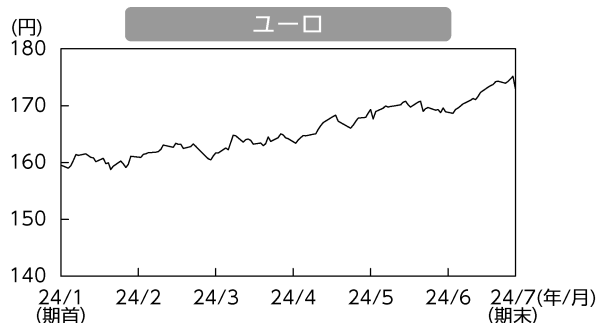
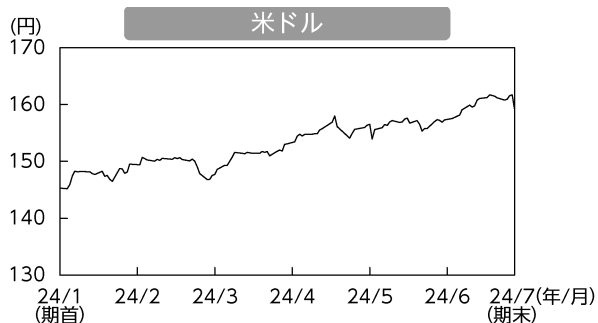
になるとECBがついに金利を引き下げたことから利回りは急低下しましたが、期末では2.5%となりました。

日本では、日本銀行は大規模金融緩和策を維持しましたが、3月にマイナス金利政策の解除に踏み切りました。しかし、日本国債の利回りの急速な上昇にはつながらず、その後は追加利上げの可能性や国債買い入れ額が減額されるという予想も台頭したことから緩やかな上昇が続き、期末では1.1%でした。

<外国為替市場>

外国為替市場は、主要先進国通貨は円に対して総じて上昇しました。

○為替レート（対円）の推移



出所：三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値（TTMレート）

■ポートフォリオについて

ベンチマークの構成比率を基本資産配分比率としながら、市場見通しにより債券と通貨の資産配分を機動的に変更するアクティブ運用を行いました。

債券・円短期金融商品における資産間配分

当期における資産間配分の本ファンドのパフォーマンスへの影響は、プラスであったものと推定されます。

債券国別配分

当期における債券国別配分の本ファンドのパフォーマンスへの影響は、マイナスであったものと推定されます。カナダと英国に対して弱気としていたことがプラス要因となりましたが、フランスに対して強気としたことがマイナス要因となりました。

通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行います。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、米ドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、米ドルの配分を減らすということになります。

当期における通貨配分の本ファンドのパフォーマンスへの影響は、プラスであったものと推定されま。オーストラリア・ドルおよびユーロに対して強気としていたことがプラス要因となった一方で、ノルウェー・クローネ、カナダ・ドル、スイス・フランに対して弱気としたことがマイナス要因となりました。

■ベンチマークとの差異について

当期の本ファンドのパフォーマンスは+9.6%となり、ベンチマーク（+9.4%）を上回りました。

当期においては、通貨配分および資産間配分がプラス寄与となった一方、債券国別配分がマイナス寄与となりました。

今後の運用方針について

資産間、債券国別、通貨の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

債券・円短期金融商品における資産間配分

モメンタムの観点から、世界債券にやや弱気の見通しとしています。

債券国別配分

フランスやドイツに対して強気の見通しとする一方で、カナダやその他欧州各国に対して弱気の見通しとしています。フランスとドイツに対してはバリュエの観点から強気とする一方で、カナダとその他欧州各国に対してはマクロおよびモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

通貨配分

オーストラリア・ドルやノルウェー・クローネに強気の見通しとする一方で、カナダ・ドルや英ポンドに対して弱気の見通しとしています。オーストラリア・ドルに対してはリスク・プレミアムの観点から、ノルウェー・クローネに対してはバリュエおよびモメンタムの観点から強気の見通しとする一方で、カナダ・ドルに対しては、バリュエおよびリスク・プレミアムの観点から、英ポンドに対してはリスク・プレミアムおよびマクロの観点から弱気の見通しとしています。

(上記見通しは2024年7月12日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

■1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2024年1月13日～2024年7月12日		
	金額	比率	
売買委託手数料 (先物・オプション) (プライムブローカー)	4円 (3) (1)	0.018% (0.013) (0.005)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (その他)	3 (1) (2)	0.013 (0.002) (0.011)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	7	0.031	

期中の平均基準価額は21,984円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況(2024年1月13日から2024年7月12日まで)

(1) 公社債

			買付額	売付額							
			千米ドル	千米ドル							
外	ア	メ	リ	カ	国	債	証	券	—	877	
	ユ	ー	ロ	ド	イ	ツ	国	債	証	券	—
国	イ	ギ	リ	ス	国	債	証	券	—	95	

(注) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(2) 先物取引の銘柄別取引状況

			買 建		売 建	
			新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
国	債券先物取引	10年国債標準物	百万円	百万円	百万円	百万円
内	債券先物取引	10年国債標準物	879	874	1,149	1,595
外	債券先物取引	米 国 国 債 先 物 1 0 年	328	328	3,595	2,827
		カ ナ ダ 国 債 先 物 1 0 年	—	—	1,088	1,610
		オーストラリア国債先物10年	1,845	1,889	24	—
		英 国 国 債 先 物 1 0 年	396	39	1,035	1,043
		イ タ リ ア 国 債 先 物 1 0 年	865	868	—	—
		ド イ ツ 国 債 先 物 1 0 年	—	—	3,590	3,155
		フ ラ ン ス 国 債 先 物 1 0 年	2,391	2,397	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 外国の取引金額は、各月中の取引額を当該月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

■ 主要な売買銘柄 (2024年1月13日から2024年7月12日まで)

公社債

当 期			
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
—	千円 —	US TREASURY N/B 6.25% 30/5/15	千円 48,004
		US TREASURY N/B 4.5% 36/2/15	46,175
		US TREASURY N/B 3% 48/2/15	38,652
		DEUTSCHLAND REP 4.75% 28/7/4	26,493
		DEUTSCHLAND REP 6.25% 30/1/4	25,132
		DEUTSCHLAND REP 5.5% 31/1/4	24,911
		DEUTSCHLAND REP 4.75% 34/7/4	24,542
		DEUTSCHLAND REP 4% 37/1/4	23,413
		UK TREASURY 4.25% 32/6/7	5,334
		UK TSY 4 1/4% 2039 4.25% 39/9/7	4,621

(注) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

■ 利害関係人との取引状況等 (2024年1月13日から2024年7月12日まで)

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細(2024年7月12日現在)

(1) 公社債

A 債券種類別開示

外国(外貨建)公社債

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ	千米ドル 9,444	千米ドル 9,104	千円 1,448,551	% 41.2	% —	% 41.2	% —	% —
ユ ー ロ ド イ ツ	千ユーロ 6,799	千ユーロ 7,875	1,361,983	38.8	—	30.5	8.3	—
イ ギ リ ス	千英ポンド 1,005	千英ポンド 964	198,233	5.6	—	5.6	—	—
合 計	—	—	3,008,768	85.7	—	77.3	8.3	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B 個別銘柄開示

外国(外貨建)公社債

種 類	銘 柄 名	当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
国 債 証 券	(アメリカ)	%	千米ドル	千米ドル	千円		
	US TREASURY N/B 3%	3.0	3,390	2,630	418,611	2048/2/15	
	US TREASURY N/B 4.5%	4.5	3,055	3,155	502,106	2036/2/15	
	US TREASURY N/B 6.25%	6.25	2,999	3,317	527,833	2030/5/15	
小 計	—	—	—	—	1,448,551	—	
国 債 証 券	(ユーロ…ドイツ)		千ユーロ	千ユーロ			
	DEUTSCHLAND REP 4%	4.0	1,284	1,476	255,407	2037/1/4	
	DEUTSCHLAND REP 4.75%	4.75	1,560	1,691	292,502	2028/7/4	
	DEUTSCHLAND REP 4.75%	4.75	1,290	1,547	267,666	2034/7/4	
	DEUTSCHLAND REP 5.5%	5.5	1,341	1,581	273,517	2031/1/4	
	DEUTSCHLAND REP 6.25%	6.25	1,324	1,577	272,889	2030/1/4	
小 計	—	—	—	—	1,361,983	—	
国 債 証 券	(イギリス)		千英ポンド	千英ポンド			
	UK TREASURY 3.25%	3.25	261	218	44,812	2044/1/22	
	UK TREASURY 4.25%	4.25	275	280	57,681	2032/6/7	
	UK TREASURY 4.5%	4.5	225	225	46,306	2042/12/7	
	UK TSY 4 1/4% 2039 4.25%	4.25	244	240	49,432	2039/9/7	
小 計	—	—	—	—	198,233	—	
合 計	—	—	—	—	3,008,768	—	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別		当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
国 内		百万円	百万円
	10年国債標準物	—	143
外 国	イタリア国債先物10年	448	—
	ドイツ国債先物10年	—	1,187
	米国国債先物10年	—	1,255
	英国国債先物10年	364	—
	カナダ国債先物10年	—	211
	フランス国債先物10年	1,143	—
	オーストラリア国債先物10年	—	24

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) —印は組入れなし。

■投資信託財産の構成

2024年7月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	3,008,768	83.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	607,710	16.8
投 資 信 託 財 産 総 額	3,616,478	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産（3,068,857千円）の投資信託財産総額（3,616,478千円）に対する比率は84.9%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=159.11円、1カナダドル=116.72円、1ユーロ=172.94円、1英ポンド=205.47円、1オーストラリアドル=107.59円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
	2024年7月12日
(A) 資 産	10,318,906,404円
コール・ローン等	382,488,097
公社債（評価額）	3,008,768,200
未収入金	6,775,915,400
未収利息	41,386,978
差入委託証拠金	110,347,729
(B) 負 債	6,806,737,060
未払金	6,784,776,536
未払解約金	21,960,524
(C) 純資産総額（A - B）	3,512,169,344
元 本	1,528,137,465
次期繰越損益金	1,984,031,879
(D) 受益権総口数	1,528,137,465口
1万口当たり基準価額（C/D）	22,983円

■損益の状況

項 目	当 期
	自2024年1月13日 至2024年7月12日
(A) 配 当 等 収 益	66,814,884円
受 取 利 息	66,851,534
支 払 利 息	△ 36,650
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	262,427,011
売 買 益	472,981,618
売 買 損	△ 210,554,607
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	△ 12,405,010
取 引 益	92,442,843
取 引 損	△ 104,847,853
(D) そ の 他 費 用 等	△ 617,105
(E) 当 期 損 益 金（A + B + C + D）	316,219,780
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	1,795,308,556
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	19,805,438
(H) 解 約 差 損 益 金	△ 147,301,895
(I) 計（E + F + G + H）	1,984,031,879
次 期 繰 越 損 益 金（I）	1,984,031,879

(注1) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益および (C) 先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で (G) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で (H) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

(注4) 期首元本額は1,635,334,450円、当作成期間中において、追加設定元本額は16,816,642円、同解約元本額は124,013,627円です。

(注5) 元本の内訳 世界ソブリン・ベビーファンド

1,528,137,465円

マネー・オープン・マザーファンド

運用報告書

第21期（決算日 2024年 1月15日）
 (2023年 1月17日～2024年 1月15日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2003年3月28日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

フ ァ ン ド 概 要

わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして安定運用を行いません。
 ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%			百万円
17期(2020年1月15日)	10,162		△0.0		—	696
18期(2021年1月15日)	10,159		△0.0		—	521
19期(2022年1月17日)	10,158		△0.0		—	398
20期(2023年1月16日)	10,155		△0.0		—	316
21期(2024年1月15日)	10,152		△0.0		—	293

(注) 元本の安全性を優先した運用を行なっているため、ベンチマークおよび適切な参考指数となる指標はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首)	円		%
2023年1月16日	10,155		—
1月末	10,155		0.0
2月末	10,155		0.0
3月末	10,155		0.0
4月末	10,155		0.0
5月末	10,154		△0.0
6月末	10,154		△0.0
7月末	10,153		△0.0
8月末	10,153		△0.0
9月末	10,153		△0.0
10月末	10,152		△0.0
11月末	10,152		△0.0
12月末	10,152		△0.0
(期 末)			
2024年1月15日	10,152		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2023年1月17日～2024年1月15日)

基準価額の推移

期間の初め10,155円の基準価額は、期間末に10,152円となり、騰落率は $\Delta 0.0\%$ となりました。

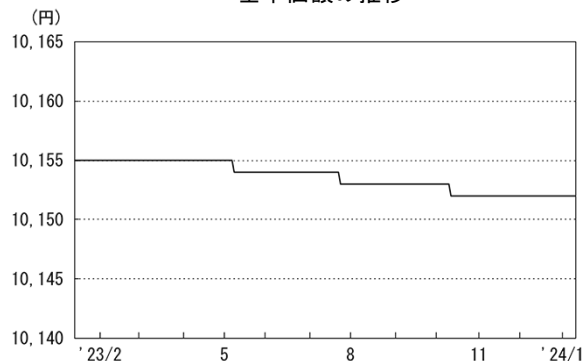
基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2023/01/16	2023/01/17	2023/10/12	2024/01/15
10,155円	10,155円	10,152円	10,152円

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの -0.03% 近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、 -0.01% 近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの -0.19% 近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、 -0.22% 近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2023年1月17日～2024年1月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,153円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年1月17日～2024年1月15日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2023年1月17日～2024年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年1月17日～2024年1月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2024年1月15日現在)

2024年1月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2024年1月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	293,708	100.0
投資信託財産総額	293,708	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年1月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	293,708,776
コール・ローン等	293,708,776
(B) 負債	198,597
未払解約金	198,565
未払利息	32
(C) 純資産総額(A-B)	293,510,179
元本	289,106,290
次期繰越損益金	4,403,889
(D) 受益権総口数	289,106,290口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,152円

(注) 当ファンドの期首元本額は311,251,070円、期中追加設定元本額は8,857,811円、期中一部解約元本額は31,002,591円です。

(注) 2024年1月15日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)	153,800,333円
・グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)	68,175,020円
・日興ビムコ・ハインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(株ドルコース)	13,739,040円
・日興ビムコ・ハインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(トルコリラコース)	9,629,170円
・世界銀行債券ファンド(毎月分配型)	9,000,074円
・資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース	7,904,694円
・日興・GS世界ソブリン・ファンド(毎月分配型)	6,352,120円
・グローバル3倍3分法(適格機関投資家専用)	5,642,457円
・高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	5,477,282円
・資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド・コース	2,481,609円
・日興ビムコ・ハインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)	2,121,761円
・日興ビムコ・ハインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	2,048,723円
・資源ファンド(株式と通貨)オーストラリアドル・コース	1,047,314円
・高金利先進国債券オープン(資産成長型)	538,501円
・グローバル3倍3分法オープン(適格機関投資家専用)	469,797円
・日興・世界ソブリン・ファンドVA(適格機関投資家転売制限付)	460,360円
・上場インデックスファンド中国A株(ハンダ)E Fund CSI300	198,295円
・上場インデックスファンド海外債券(FI SE WGBI)毎月分配型	19,740円

(注) 1口当たり純資産額は1.0152円です。

○損益の状況 (2023年1月17日～2024年1月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 83,775
支払利息	△ 83,775
(B) 保管費用等	△ 385
(C) 当期損益金(A+B)	△ 84,160
(D) 前期繰越損益金	4,826,068
(E) 追加信託差損益金	136,117
(F) 解約差損益金	△ 474,136
(G) 計(C+D+E+F)	4,403,889
次期繰越損益金(G)	4,403,889

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2023年1月17日から2024年1月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、投資対象ファンドにて行なうデリバティブ取引の利用目的を明確化するべく、2023年10月11日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第14条、第15条、第16条)